

"Uto Daruma" introductory book

善知鳥彫ダルマ

入門書



目次

はじめに	1 P
善知鳥彫だるまのフォルム	2 ~ 4 P
善知鳥彫だるまの表情	5 ~ 7 P
善知鳥彫だるまの製作	8 ~ 9 P
善知鳥彫だるま百年の歴史	
今克己について	10 P
福井強について	11 P
年表	12 ~ 13 P



はじめに

善知鳥彫ダルマは、青森県の文化振興に功績のあった今克己が県の工芸品振興のために大正10年ごろより取り組んだのが始まりである。

深紅の衣に包まれた瘦身のダルマが前方を見据えるという独特な風貌は、悟りを開き座禅から立ち上がって前に足を踏み出そうとする姿を表現している。名前はその昔青森県にいた「善知鳥」という鳥にちなんで名付けられた。樹木の自然な割れを最大限に生かしたそのダルマは、一つとして同じものがない。（青森県HPから）

二代目を継いだ福井強は、精神性と芸術性をより高いところに昇華をさせると共に、青森の郷土玩具として全国に広め、平成8年青森県の伝統工芸品に認定された。



初代 今克己



二代目 福井強

善知鳥彫ダルマのフォルム



善知鳥彫ダルマのフォーム



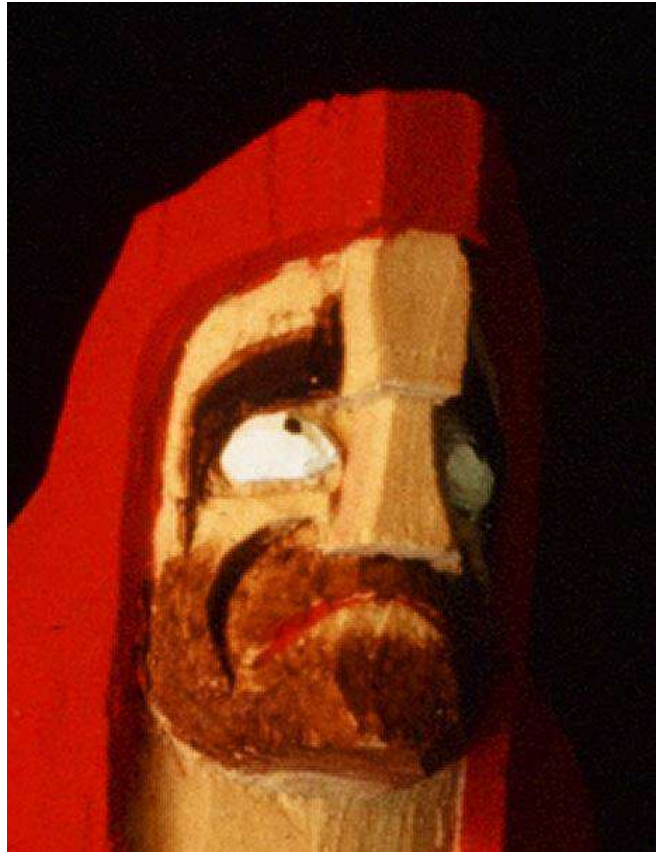
善知鳥彫ダルマのフォーム



善知鳥彫ダルマの表情



善知鳥彫ダルマの表情



善知鳥彫だるまの製作

師匠の今克己は言った。「とにかく彫ること。自分の”善知鳥彫りだるま”はどういうものか見えてくるから」。40年を経て二代目福井強は言った。「どういう木にも魂（仏）が宿ってる。それを掘り起こすのが”善知鳥彫だるま”だ。いい木悪い木なんて無い。失敗の成功も無い、彫り出された全てに”善知鳥彫だるま”の命は吹き込まれているのだから」と。

”善知鳥彫りだるま”は単なる民芸品とは異なり、その独特な精神文化と共に今に残っています。一方、製作技術は一人の工人に託されることとなっていたため技術が広がらず、今その継承が問われている。

私たちは、日展彫刻家やバードカービング作家等の協力を得て”善知鳥彫りだるま”の伝統的な製作法について調査し、ここに公開した。これによって”善知鳥彫りだるま”の魅力を広め、百年の歴史を持つ青森市の”善知鳥彫だるま”の継承に結び付けようと考えている。

※”善知鳥彫だるま”を製作するにあたっての注意事項

“善知鳥彫だるま”の材料となる木材は、不定型な形のものを使用することが多い。そのため片手で材料を押さえながら、もう一方の手に刃物を持って加工することが多く予期せぬ怪我をすることがある。また、小さなものほど、疲れている時ほど、急いでいる時ほど怪我のリスクは高くなる。彫刻に関する基礎知識は必須で、できれば彫刻の実務者から学ぶのが一番である。





①木割り

木の中に達磨の「姿」を探し、見つけ、割り出し、彫り出す。



②面付け

彫刻刀や鑿を使って、顔面部を斜めに削る。



③面描き

鉛筆で、「顎」、「鼻下」、「眉間」、「額」の位置、「顔の輪郭」を描く。



④粗取り

③で描いた「顎」、「鼻下」、「眉間」、「額」の線に、切れ目を入れ、彫刻刀ですくい取り、



⑤面造り

「顔面」の輪郭と「袈裟」の縁から始め、鼻、頬、顎、口と進み、最後に目を仕上げる。



⑥姿造り

善知鳥の後ろ姿に見えるように、肩を削り出す。他は出来るだけ手を加えず、木の割れ肌を活かす。



⑦色付け

顔と袈裟の縁、袈裟、最後に目をいれる。



⑧台乗せ

台は主に広葉樹の枝の輪切り材が使用され、割れ止め処理される。「善知鳥彫だるま」は、前方に傾けて台に設置する。



善知鳥彫だるま百年の歴史



初代今克己について

今純三著「青森県画譜 第1-12輯」から

“善知鳥彫だるま”は、「青森市の今克己氏が大正10年の末ころから彫り始めたもの、だるま、トラピスト、バテレン、観瀑等の種類があり、就中だるまは巧みに木節を利用して割り出し、極めて雅趣にむ・・・」と「東北土俗玩具案内」（昭和3年仙臺鉄道局編纂）に紹介されている。

今克己は、明治23年4月弘前市に生まれた。後の東奥日報の取材で「青森第三中学校卒業で福士幸次郎と同級生であった」と述べている。また、明治44年当時、青森郵便局通信書記に奉職し、北洋画会会員・水彩画研究者であった（青森県における明治期の美術）。大正8年ころ、洋画家で版画家である山本鼎が提唱する「農民美術自由画運動」に影響を受けて「善知鳥彫」を始めた。大正11年の「手工芸品展覧会」（内外商工時報）、昭和3年の「第1回青年創作副業品展覧会」や「青森県文化象徴展」、昭和4年～9年では、「青年創作副業品展覧会」や「帝国工芸展覧会」に出展したという記録があり、特に「帝国工芸展覧会」では「善知鳥彫」が芸術性が高いということで県内外の注目を集めたとある。昭和8年、万国科学海洋植民博覧会において「達磨」・「梅日和」が金賞を受賞するに至り「善知鳥彫」作家今克己の名を確固のものとした。この年から「板柳銀行青森支店長今克己」、「菊屋百貨店支配人今克己」（昭和10年）の名前で出てくるようになる。昭和12年には「第8回東北名産陳列会」に善知鳥彫・春駒を出品しており「善知鳥彫」を続けていたことが分かる。この当時の話は、今克己晩年の昭和56年にグラフ青森の佐久間氏が取材したテープに肉声が残っている。戦後は、昭和23年「ねぶた審査委員長」、昭和24年「青森県玩具商工業組合」（日本の木製品工業）、昭和25年「青森県図絵製作」、昭和26年「国立公園十和田八甲田連峰案内図出版」等、精力的に創作活動に励んだ。しかし、今克己62歳の昭和27年のときに娘が亡くなり5年間活動が途絶えている。活動を再開したのは昭和32年ころからで、大阪大丸百貨店、秋田産業博覧会、東北・北海道観光物産展等に出品して好評を得た。その後、昭和41年71歳のとき皇室への「ねぶた祭人形」制作献上、青森北東ロータリークラブ第17回卓話、昭和56年の91歳では「今克己展」を開催する等、昭和57年7月9日92歳で亡くなるまで「創作活動と産業振興」において青森県に大いに貢献した。



善知鳥彫だるま百年の歴史



二代目 福井強 について

今純三著「青森県画譜 第1-12輯」から



福井強は「俺は昭和20年8月15日の終戦日にサハリンで生まれた」と言っていた。終戦の混乱の中、母親と一緒に日本に逃れてきたという。付き合ってみると、日本人ばなれした彼の容姿とはまったく真逆の、人懐っこくて日本人くさい思考回路とのギャップの魅力に引き込まれる。

昭和59年の10月ころであった。イタリア人マフィアのような男が、これ以上の低姿勢が無いほど腰を低くして現れた。福井強であった。この時、彼は二代目善知鳥彫だるま職人になって3年経っており、「おっかい善知鳥彫だるまを作りたい」と、私にその相談を持ち掛けた。今考えるとこれは二代目善知鳥彫だるま職人福井強を世間に知らしめる一世一代のデビューイベントであった。

思惑は当たり、「善知鳥彫りの復活にかける福井強さん」（昭和59年県政のあゆみ）と、多くのマスコミが二代目善知鳥彫りだるま職人福井強取材に訪れた。しかし、昭和60年のこの当時、すでに民芸品の生産額、従業員数、企業数共に右肩下がりの衰退傾向が続いていたことに誰も気が付いておらず、他の伝統工芸品同様、「善知鳥彫だるま」もまたこの流れを変えることはできなかった。

平成5年、福井強は、母の経営する「老人保健施設」を手伝うこととなり、善知鳥彫だるま職人との二足の草鞋を履くことになる。彼は施設で演劇を開催したり、「詩」の仲間づくりをしたりして施設を盛り上げたことでたくさんの方が集まるようになった。「善知鳥彫だるま」職人の方も、平成8年に「青森県の伝統工芸品」に認定され、平成16年には福井強が「青森県伝統工芸士」に選定され、平成19年には「青森市の巧の職人」に選ばれた。また、平成25年には自ら出版した詩集「開けっ放しのパンドラの箱」が青森県詩人連盟賞を受賞し、廻りの人たちを驚かせた。

令和6年1月3日、福井強は逝ってしまった。後継者のことを尋ねると、「心配しなくてもいいよ。いい時に現れるもんだよ」と言葉を残しながら。

張母

西暦	和暦	年齢	明治		大正		昭和		周辺
1823	文政5	35	43	44	45	8	10	11	12
1824	文政6	36	44	45	46	9	10	11	12
1825	文政7	37	45	46	47	10	11	12	13
1826	文政8	38	46	47	48	11	12	13	14
1827	文政9	39	47	48	49	12	13	14	15
1828	文政10	40	48	49	50	13	14	15	16
1829	文政11	41	49	50	51	14	15	16	17
1830	文政12	42	50	51	52	15	16	17	18
1831	文政13	43	51	52	53	16	17	18	19
1832	文政14	44	52	53	54	17	18	19	20
1833	文政15	45	53	54	55	18	19	20	21
1834	文政16	46	54	55	56	19	20	21	22
1835	文政17	47	55	56	57	20	21	22	23
1836	文政18	48	56	57	58	21	22	23	24
1837	文政19	49	57	58	59	22	23	24	25
1838	文政20	50	58	59	60	23	24	25	26
1839	文政21	51	59	60	61	24	25	26	27
1840	文政22	52	60	61	62	25	26	27	28
1841	文政23	53	61	62	63	26	27	28	29
1842	文政24	54	62	63	64	27	28	29	30
1843	文政25	55	63	64	65	28	29	30	31
1844	文政26	56	64	65	66	29	30	31	32
1845	文政27	57	65	66	67	30	31	32	33
1846	文政28	58	66	67	68	31	32	33	34
1847	文政29	59	67	68	69	32	33	34	35
1848	文政30	60	68	69	70	33	34	35	36
1849	文政31	61	69	70	71	34	35	36	37
1850	文政32	62	70	71	72	35	36	37	38
1851	文政33	63	71	72	73	36	37	38	39
1852	文政34	64	72	73	74	37	38	39	40
1853	文政35	65	73	74	75	38	39	40	41
1854	文政36	66	74	75	76	39	40	41	42
1855	文政37	67	75	76	77	40	41	42	43
1856	文政38	68	76	77	78	41	42	43	44
1857	文政39	69	77	78	79	42	43	44	45
1858	文政40	70	78	79	80	43	44	45	46
1859	文政41	71	79	80	81	44	45	46	47
1860	文政42	72	80	81	82	45	46	47	48
1861	文政43	73	81	82	83	46	47	48	49
1862	文政44	74	82	83	84	47	48	49	50
1863	文政45	75	83	84	85	48	49	50	51
1864	文政46	76	84	85	86	49	50	51	52
1865	文政47	77	85	86	87	50	51	52	53
1866	文政48	78	86	87	88	51	52	53	54
1867	文政49	79	87	88	89	52	53	54	55
1868	文政50	80	88	89	90	53	54	55	56
1869	文政51	81	89	90	91	54	55	56	57
1870	文政52	82	90	91	92	55	56	57	58
1871	文政53	83	91	92	93	56	57	58	59
1872	文政54	84	92	93	94	57	58	59	60
1873	文政55	85	93	94	95	58	59	60	61
1874	文政56	86	94	95	96	59	60	61	62
1875	文政57	87	95	96	97	60	61	62	63
1876	文政58	88	96	97	98	61	62	63	64
1877	文政59	89	97	98	99	62	63	64	65
1878	文政60	90	98	99	100	63	64	65	66
1879	文政61	91	99	100		64	65	66	67
1880	文政62	92	100			65	66	67	68
1881	文政63	93				66	67	68	69
1882	文政64	94				67	68	69	70
1883	文政65	95				68	69	70	71
1884	文政66	96				69	70	71	72
1885	文政67	97				70	71	72	73
1886	文政68	98				71	72	73	74
1887	文政69	99				72	73	74	75
1888	文政70	100				73	74	75	76
1889	文政71					74	75	76	77
1890	文政72					75	76	77	78
1891	文政73					76	77	78	79
1892	文政74					77	78	79	80
1893	文政75					78	79	80	81
1894	文政76					79	80	81	82
1895	文政77					80	81	82	83
1896	文政78					81	82	83	84
1897	文政79					82	83	84	85
1898	文政80					83	84	85	86
1899	文政81					84	85	86	87
1900	文政82					85	86	87	88
1901	文政83					86	87	88	89
1902	文政84					87	88	89	90
1903	文政85					88	89	90	91
1904	文政86					89	90	91	92
1905	文政87					90	91	92	93
1906	文政88					91	92	93	94
1907	文政89					92	93	94	95
1908	文政90					93	94	95	96
1909	文政91					94	95	96	97
1910	文政92					95	96	97	98
1911	文政93					96	97	98	99
1912	文政94					97	98	99	100
1913	文政95					98	99	100	
1914	文政96					99	100		
1915	文政97					100			
1916	文政98								
1917	文政99								
1918	文政100								
1919	大正9								
1920	大正10								
1921	大正11								
1922	大正12								
1923	大正13								
1924	大正14								
1925	大正15								
1926	大正16								
1927	大正17								
1928	大正18								
1929	大正19								
1930	大正20								
1931	大正21								
1932	大正22								
1933	大正23								
1934	大正24								
1935	大正25								
1936	大正26								
1937	大正27								
1938	大正28								
1939	大正29								
1940	大正30								
1941	昭和15								
1942	昭和16								
1943	昭和17								
1944	昭和18								
1945	昭和19								
1946	昭和20								
1947	昭和21								
1948	昭和22								
1949	昭和23								
1950	昭和24								
1951	昭和25								
1952	昭和26								
1953	昭和27								
1954	昭和28								
1955	昭和29								
1956	昭和30								
1957	昭和31								
1958	昭和32								
1959	昭和33								
1960	昭和34								
1961	昭和35								
1962	昭和36								
1963	昭和37								
1964	昭和38								
1965	昭和39								
1966	昭和40								
1967	昭和41								
1968	昭和42								
1969	昭和43								
1970	昭和44								
1971	昭和45								
1972	昭和46								
1973	昭和47								
1974	昭和48								
1975	昭和49								
1976	昭和50								
1977	昭和51								
1978	昭和52								
1979	昭和53								
1980	昭和54								
1981	昭和55								
1982	昭和56								
1983	昭和57								
1984	昭和58								
1985	昭和59								
1986	昭和60								
1987	昭和61								
1988	昭和62								
1989	昭和63								
1990	昭和64								
1991	昭和65								
1992	昭和66								
1993	昭和67								
1994	昭和68								
1995	昭和69								
1996	昭和70								
1997	昭和71								
1998	昭和72								
1999	昭和73								
2000	昭和74								
2001	昭和75								
2002	昭和76								
2003	昭和77								
2004	昭和78								
2005	昭和79								
2006	昭和80								
2007	昭和81								
2008	昭和82								
2009	昭和83								
2010	昭和84								
2011	昭和85								
2012	昭和86								
2013	昭和87								
2014	昭和88								
2015	昭和89								
2016	昭和90								
2017	昭和91								
2018	昭和92								
2019									

案件

明)

(世

昭和		平成		令和
一九四五	20年	55年		5年
一九四八	23年	58年		8年
一九四九	24年	59年		9年
一九五〇	25年	60年		10年
一九五一	26年	61年		11年
一九五二	27年	62年		12年
一九五三	28年	63年		13年
一九五四	29年	64年		14年
一九五五	30年	65年		15年
一九五七	32年	67年		17年
一九五八	33年	68年		18年
一九五九	34年	69年		19年
一九六〇	35年	70年		20年
一九六六	41年	76年		26年
一九七五	50年	85年		35年
一九七七	52年	87年		37年
一九八一	56年	91年		41年
一九八二	57年	92年		42年
一九八三	58年	93年		43年
一九八四	59年	94年		44年
一九八五	60年	95年		45年
一九八六	61年	96年		46年
一九八八	63年	98年		48年
一九九三	13年	23年		53年
一九九六	16年	26年		56年
二〇〇二	22年	32年		62年
二〇〇七	27年	37年		67年
二〇〇八	28年	38年		68年
二〇〇九	29年	39年		69年
二〇一〇	30年	40年		70年
二〇一一	31年	41年		71年
二〇一二	32年	42年		72年
二〇一三	33年	43年		73年
二〇一五	35年	45年		75年
二〇一六	36年	46年		76年
二〇一七	37年	47年		77年
二〇一八	38年	48年		78年
二〇一九	39年	49年		79年
二〇二〇	40年	50年		80年
二〇二一	41年	51年		81年
二〇二二	42年	52年		82年
二〇二三	43年	53年		83年
二〇二四	44年	54年		84年
二〇二五	45年	55年		85年
二〇二六	46年	56年		86年
二〇二七	47年	57年		87年
二〇二八	48年	58年		88年
二〇二九	49年	59年		89年
二〇三〇	50年	60年		90年
二〇三一	51年	61年		91年
二〇三二	52年	62年		92年
二〇三三	53年	63年		93年
二〇三四	54年	64年		94年
二〇三五	55年	65年		95年
二〇三六	56年	66年		96年
二〇三七	57年	67年		97年
二〇三八	58年	68年		98年
二〇三九	59年	69年		99年
二〇四〇	60年	70年		100年
二〇四一	61年	71年		101年
二〇四二	62年	72年		102年
二〇四三	63年	73年		103年
二〇四四	64年	74年		104年
二〇四五	65年	75年		105年
二〇四六	66年	76年		106年
二〇四七	67年	77年		107年
二〇四八	68年	78年		108年
二〇四九	69年	79年		109年
二〇五〇	70年	80年		110年
二〇五一	71年	81年		111年
二〇五二	72年	82年		112年
二〇五三	73年	83年		113年
二〇五四	74年	84年		114年
二〇五五	75年	85年		115年
二〇五六	76年	86年		116年
二〇五七	77年	87年		117年
二〇五八	78年	88年		118年
二〇五九	79年	89年		119年
二〇六〇	80年	90年		120年
二〇六一	81年	91年		121年
二〇六二	82年	92年		122年
二〇六三	83年	93年		123年
二〇六四	84年	94年		124年
二〇六五	85年	95年		125年
二〇六六	86年	96年		126年
二〇六七	87年	97年		127年
二〇六八	88年	98年		128年
二〇六九	89年	99年		129年
二〇七〇	90年	100年		130年
二〇七一	91年	101年		131年
二〇七二	92年	102年		132年
二〇七三	93年	103年		133年
二〇七四	94年	104年		134年
二〇七五	95年	105年		135年
二〇七六	96年	106年		136年
二〇七七	97年	107年		137年
二〇七八	98年	108年		138年
二〇七九	99年	109年		139年
二〇八〇	100年	110年		140年
二〇八一	101年	111年		141年
二〇八二	102年	112年		142年
二〇八三	103年	113年		143年
二〇八四	104年	114年		144年
二〇八五	105年	115年		145年
二〇八六	106年	116年		146年
二〇八七	107年	117年		147年
二〇八八	108年	118年		148年
二〇八九	109年	119年		149年
二〇九〇	110年	120年		150年
二〇九一	111年	121年		151年
二〇九二	112年	122年		152年
二〇九三	113年	123年		153年
二〇九四	114年	124年		154年
二〇九五	115年	125年		155年
二〇九六	116年	126年		156年
二〇九七	117年	127年		157年
二〇九八	118年	128年		158年
二〇九九	119年	129年		159年
二一〇〇	120年	130年		160年
二一〇一	121年	131年		161年
二一〇二	122年	132年		162年
二一〇三	123年	133年		163年
二一〇四	124年	134年		164年
二一〇五	125年	135年		165年
二一〇六	126年	136年		166年
二一〇七	127年	137年		167年
二一〇八	128年	138年		168年
二一〇九	129年	139年		169年
二一〇	130年	140年		170年
二一〇一	131年	141年		171年
二一〇二	132年	142年		172年
二一〇三	133年	143年		173年
二一〇四	134年	144年		174年
二一〇五	135年	145年		175年
二一〇六	136年	146年		176年
二一〇七	137年	147年		177年
二一〇八	138年	148年		178年
二一〇九	139年	149年		179年
二一〇	140年	150年		180年
二一〇一	141年	151年		181年
二一〇二	142年	152年		182年
二一〇三	143年	153年		183年
二一〇四	144年	154年		184年
二一〇五	145年	155年		185年
二一〇六	146年	156年		186年
二一〇七	147年	157年		187年
二一〇八	148年	158年		188年
二一〇九	149年	159年		189年
二一〇	150年	160年		190年
二一〇一	151年	161年		191年
二一〇二	152年	162年		192年
二一〇三	153年	163年		193年
二一〇四	154年	164年		194年
二一〇五	155年	165年		195年
二一〇六	156年	166年		196年
二一〇七	157年	167年		197年
二一〇八	158年	168年		198年
二一〇九	159年	169年		199年
二一〇	160年	170年		200年
二一〇一	161年	171年		201年
二一〇二	162年	172年		202年
二一〇三	163年	173年		203年
二一〇四	164年	174年		204年
二一〇五	165年	175年		205年
二一〇六	166年	176年		206年
二一〇七	167年	177年		207年
二一〇八	168年	178年		208年
二一〇九	169年	179年		209年
二一〇	170年	180年		210年
二一〇一	171年	181年		211年
二一〇二	172年	182年		212年
二一〇三	173年	183年		213年
二一〇四	174年	184年		214年
二一〇五	175年	185年		215年
二一〇六	176年	186年		216年
二一〇七	177年	187年		217年
二一〇八	178年	188年		218年
二一〇九	179年	189年		219年
二一〇	180年	190年		220年
二一〇一	181年	191年		221年
二一〇二	182年	192年		222年
二一〇三	183年	193年		223年
二一〇四	184年	194年		224年
二一〇五	185年	195年		225年
二一〇六	186年	196年		226年
二一〇七	187年	197年		227年
二一〇八	188年	198年		228年
二一〇九	189年	199年		229年
二一〇	190年	200年		230年
二一〇一	191年	201年		231年
二一〇二	192年	202年		232年
二一〇三	193年	203年		233年
二一〇四	194年	204年		234年
二一〇五	195年	205年		235年
二一〇六	196年	206年		236年
二一〇七	197年	207年		237年
二一〇八	198年	208年		238年
二一〇九	199年	209年		239年
二一〇	200年	210年		240年
二一〇一	201年	211年		241年
二一〇二	202年	212年		242年
二一〇三	203年	213年		243年
二一〇四	204年	214年		244年
二一〇五	205年	215年		245年
二一〇六	206年	216年		246年
二一〇七	207年	217年		247年
二一〇八	208年	218年		248年
二一〇九	209年	219年		249年
二一〇	210年	220年		250年
二一〇一	211年	221年		251年
二一〇二	212年	222年		252年
二一〇三	213年	223年		253年
二一〇四	214年	224年		254年
二一〇五	215年	225年		255年
二一〇六	216年	226年		256年
二一〇七	217年	227年		257年
二一〇八	218年	228年		258年
二一〇九	219年	229年		259年
二一〇	220年	230年		260年
二一〇一	221年	231年		261年
二一〇二	222年	232年		262年
二一〇三	223年	233年		263年
二一〇四	224年	234年		264年
二一〇五	225年	235年		265年
二一〇六	226年	236年		266年
二一〇七	227年	237年		267年
二一〇八	228年	238年		268年
二一〇九	229年	239年		269年
二一〇	230年	240年		270年
二一〇一	231年	241年		271年
二一〇二	232年	242年		272年
二一〇三	233年	243年		273年
二一〇四	234年	244年		274年
二一〇五	235年	245年		275年
二一〇六	236年	246年		276年
二一〇七	237年	247年		277年
二一〇八	238年	248年		278年
二一〇九	239年	249年		279年
二一〇	240年	250年		280年
二一〇一	241年	251年		281年
二一〇二	242年	252年		282年
二一〇三	243年	253年		283年
二一〇四	244年	254年		284年
二一〇五	245年	255年		285年
二一〇六	246年	256年		286年
二一〇七	247年	257年		287年
二一〇八	248年	258年		288年
二一〇九	249年	259年		289年
二一〇	250年	260年		290年
二一〇一	251年	261年		291年
二一〇二	252年	262年		292年
二一〇三	253年	263年		293年
二一〇四	254年	264年		294年
二一〇五	255年	265年		295年
二一〇六	256年	266年		296年
二一〇七	257年	267年		297年
二一〇八	258年	268年		298年
二一〇九	259年	269年		299年
二一〇	260年	270年		300年
二一〇一	261年	271年		301年
二一〇二	262年	272年		302年
二一〇三	263年	273年		303年
二一〇四	264年	274年		304年
二一〇五	265年	275年		305年
二一〇六	266年	276年		306年
二一〇七	267年	277年		307年
二一〇八	268年	278年		308年
二一〇九	269年	279年		309年
二一〇	270年	280年		310年
二一〇一	271年	281年		311年
二一〇二	272年	282年		312年
二一〇三	273年	283年		313年
二一〇四	274年	284年		314年
二一〇五	275年	285年		315年
二一〇六	276年	286年		316年
二一〇七	277年	287年		317年
二一〇八	278年	288年		318年
二一〇九	279年	289年		319年
二一〇	280年	290年		320年
二一〇一	281年	291年		321年
二一〇二	282年	292年		322年
二一〇三	283年	293年		



特定非営利活動法人おどろ木ネットワーク

〒038-0003 青森県青森市大字石江字江渡106番地227

TEL 017-781-4612

FAX 017-781-4612

URL: <http://www.odorokikobo.com/> Email: odoroki7@bc4.so-net.ne.jp